

知名町字版循環共生圏策定に向けた モデル字選定について 区長会用資料

令和3年9月10日

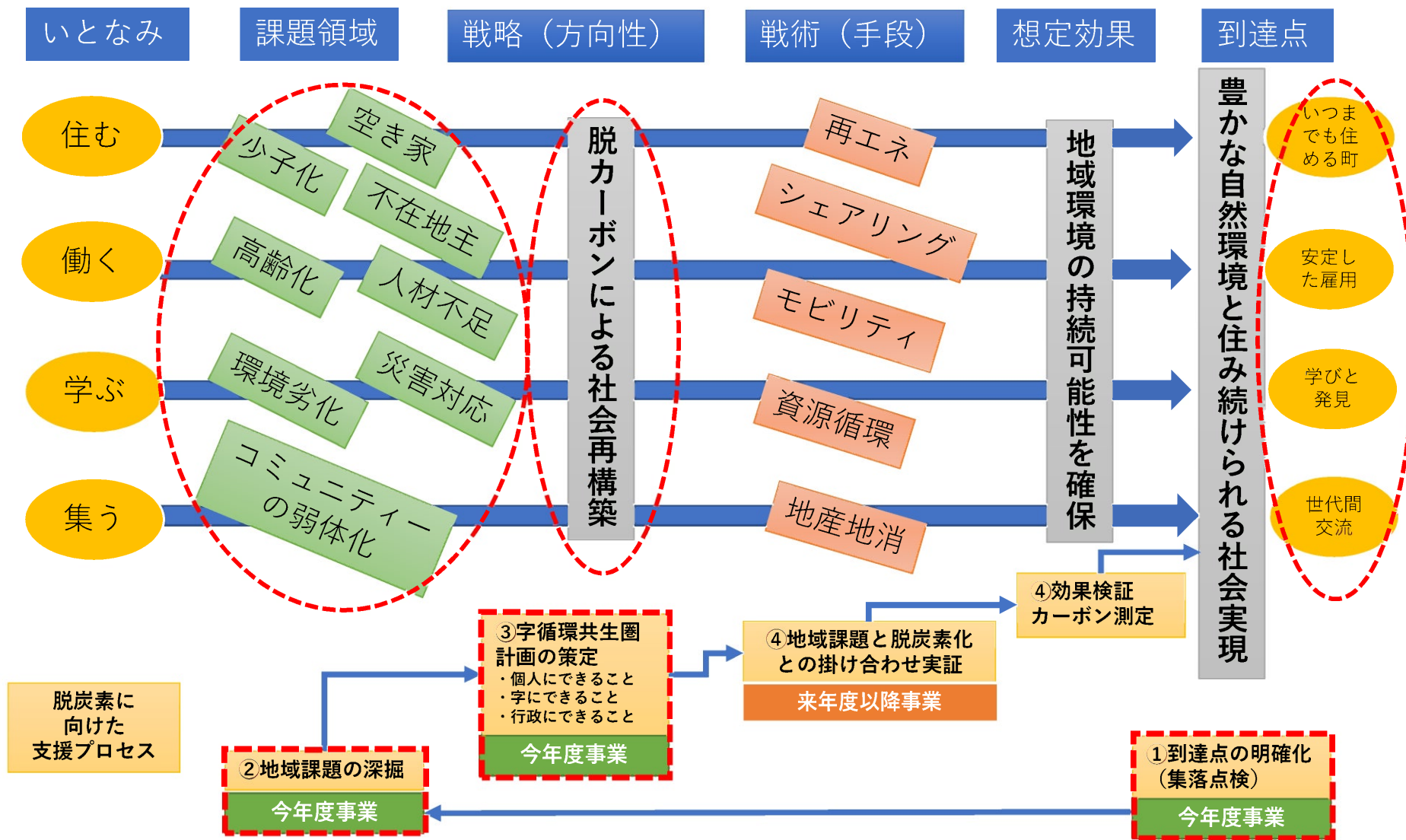


一般社団法人サステナブル経営推進機構
Sustainable Management Promotion Organization

目次

- 字循環共生圏の策定イメージ・・・・・・・・・・ 2
- 事業実施内容について・・・・・・・・・・ 3
- 事業スケジュール・・・・・・・・・・ 6
- 事業実施体制・・・・・・・・・・ 7
- モデル字の募集条件・・・・・・・・・・ 8
- モデル字の選定方法・・・・・・・・・・ 9
- 申請書について・・・・・・・・・・ 10

字循環共生圏の策定のイメージ



本年度はモデルとなる字にて①到達点の明確化②地域課題の深掘り③モデル事業の提案を実施

事業実施内容について（集落点検）

字の将来像を集落点検によって「見える化」
 「10年後のどんな字であるべきか、今から出来る事を考える」

第1回 ワークショップ

集落点検で、10年後の字人口を試算してみよう

字の中で気になることをみんなで挙げてみよう

テーマ **高齢化** **子育て** **自然災害** **空き家** **農地流動化**

第2回 ワークショップ

集落点検で見た事を確認してみよう・共有しよう

自分たちで出来る事や今からやれることを考えよう

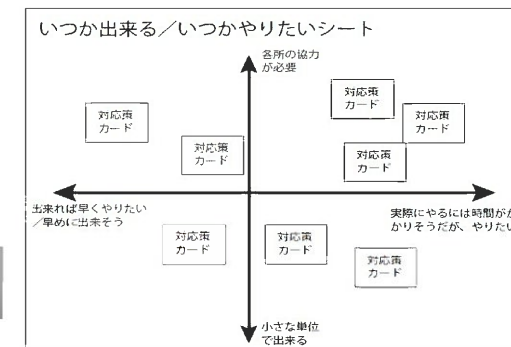
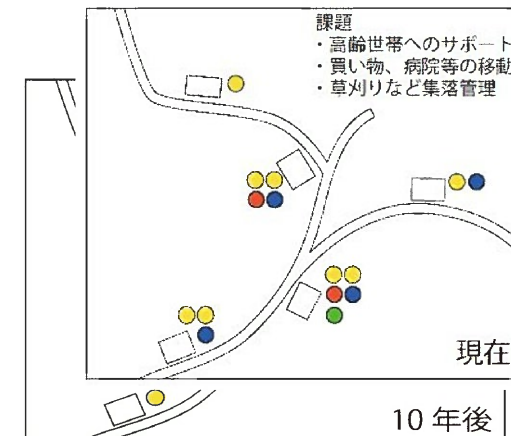
テーマ **小さな単位** **大きな単位** **すぐ出来る** **時間をかけて**

第3回 ワークショップ

現在の町の施策と字の人口の変化を見てみよう

10年後も元気な字であるために計画をたてよう

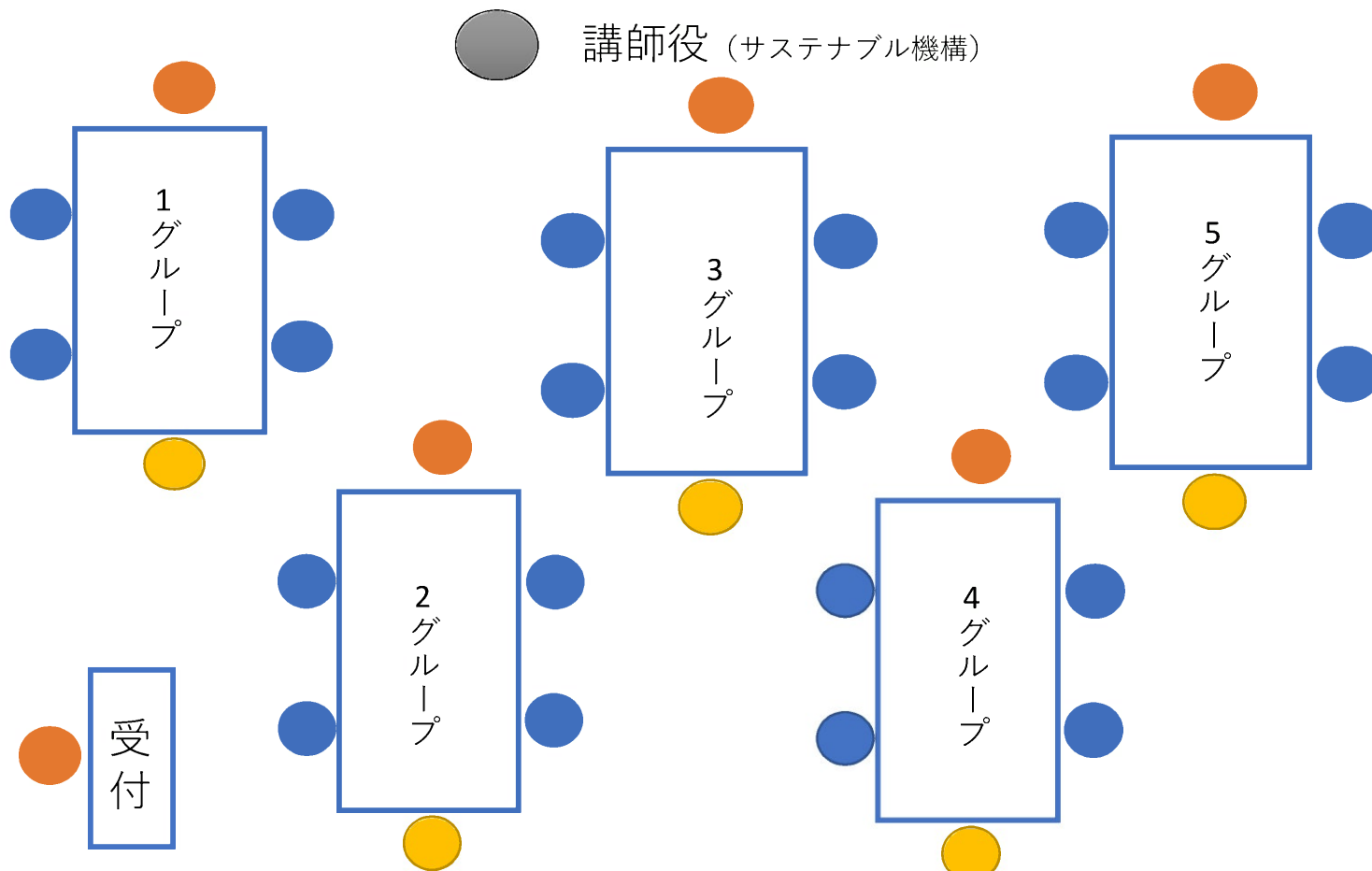
テーマ **一人で出来る事** **字で出来る事** **行政と取り組む事**



事業実施内容について（ワークショッププレイアウト）

会議に必要な物品は事務局にて用意します。

会議資料・名札・模造紙・筆記用具・プロジェクター・飲料・消毒液



感染症対策 （事務局にて実施）

- ・ 島外から訪問するスタッフは最低人数とし、来島前にはPCR検査を実施します。
- ・ ワークショップ参加者は受付時に体調確認と検温・手指消毒を実施します。
- ・ 会場の換気・休憩時間には消毒を実施します
- ・ 島内にて感染症拡大時には開催の延期、もしくは島外スタッフはWEB参加にて実施します。

● 字参加者 ● 字役員（進行役） ● スタッフ（書記役）

事業実施内容について（字循環共生圏の素案）

字の集落点検による地域課題の整理

字内の人口を集落点検から推定し、将来字において想定される懸念点を見える化する（ワークショップ終了後に字関係者と協議の上整理）

課題・対策

字住民とのワークショップにて課題を整理する領域

<人口減少対策>
字関係者Uターン誘致

<字の防災対策>
災害時避難誘導計画

<字の拠点整備>
公民館利便性向上

<字の資源有効利用>
空き家有効活用検討

<持続型な農業生産>
農地の流動化対策

実施内容

ワークショップの内容を踏まえ、字役員・事業者と協議の上策定する領域

字内出身者からUターン・孫ターンなど定住可能性のある住民候補の発掘・交流

災害発生時の避難の際、誰と誰が助け合い声かけなどルールを策定、避難訓練の実施

再エネ設備を導入し災害対応能力させ、エネルギー費用削減と利便性を向上

定住者向けのお試し住宅、シェアハウス等移住・Uターン者の居住拠点の確保

担い手のいない農地を調査し、字による共同運営を検討、農作物の地域内の販売

狙い

次年度以降の計画として素案を検討する領域

字内の情報発信活動を強化、地域行事への参加から交流に取り組む

地域内防災行事の一環として実施し、地域の繋がりを再確認する

再エネの地域内導入の先行事例として整備
日常・災害時の拠点として整備する

離島型ZEHモデル住宅として整備。利用データを蓄積し今後の住宅整備のモデルとする

字主体のスマート農業のテスト事例として整備
食料の域内循環を目指す

ソフト整備

ハード整備

事業スケジュール

モデル字選定まで（9月中）

事業説明 9/10

区長会にて計画策定に向けた全体内容
モデル字の公募について説明を行います

公募期間 9/13～9/20

区長会終了後よりモデル字候補の受付開始
役場企画振興課宛に申し出てください

候補選定 9月中旬

応募内容から、役場・受託者との協議の上
でモデル字を選定します（1～2件）

選定結果発表 9/24

区長会によりモデル字の発表します。

事業の実施期間（9月後半～12月末まで）

字内関係者打合せ 9月後半

字の関係者と共に、役場・事業者との顔合わせ、実施方法を確認し
ます。字の関係者にはワークショップの参加者を選定頂きます。

第1回ワークショップ 10月上旬

各班ごとに分かれて集落点検を実施し、字内の居住者・関係者を地
図に記録し、全員で確認します。

関係者打合せ・振り返り（事業者・字）

第2回ワークショップ 11月上旬

各班ごとの点検結果を振り返り、今後の心配事や課題と対応方法を
整理します

関係者打合せ・振り返り（事業者・字）

第3回ワークショップ 12月上旬

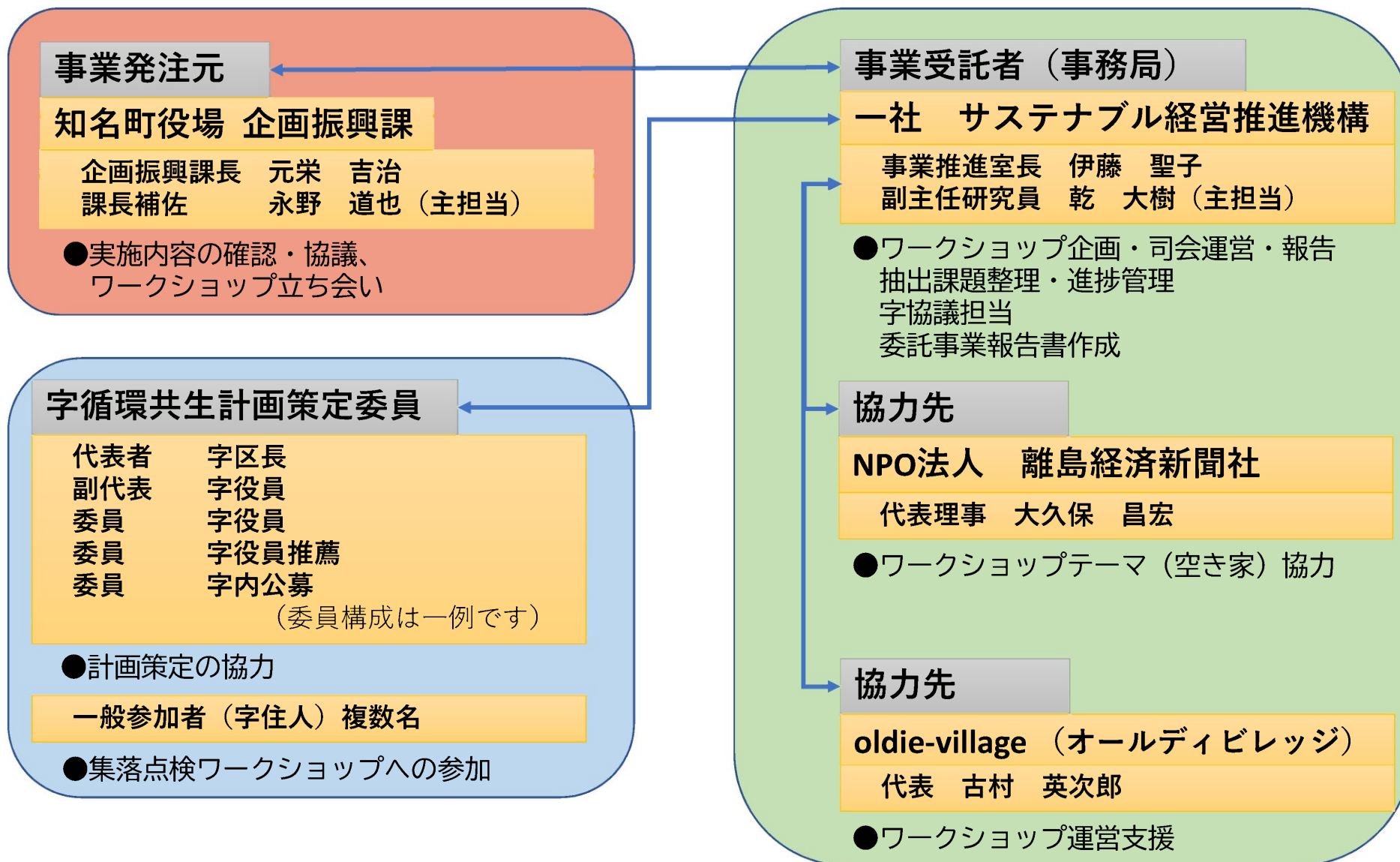
各グループの点検結果・対応方法を整理し全体で個人・字・町単位
にて行動計画に分け、発表（字循環共生圏計画）を行います。

関係者打合せ・課題と解決策検討（事業者・字）

成果報告会 12月下旬

取りまとめた計画を、字内の会合や区長会、その他の再生可能エネ
ルギーに関する会合にて内容を報告し、成果を全体に共有します。

事業実施体制



モデル字の募集条件

字役員を中心に事業運営に協力をいただけること

ワークショップの運営にあたり、一般参加者の振り分け・各班毎の議論の支援・課題の整理について字の方から運営委員を選出頂きます。区長以外で3名から最大5名までの運営委員の推薦をお願いします。運営委員の方は各ワークショップの前後の打合せに協力頂き、役場・事務局と共に出された課題の検討・整理にご協力下さい。

幅広い住民から協力が得られること

ワークショップには字内の幅広い世代の住民に参加者としてご協力頂く必要があります。参加者は3回のワークショップにいずれも参加いただくことが必須です。定員は20名までとし、年齢は高校生以上、原則字内に居住する方とします。（モデル字決定後に参加者選定をお願いします）

モデル字として運営協力いただけること

今回の取り組みは今後の字を主体とした町づくりにおいて見本となる貴重な機会となります。より良い運営となるよう取り組み内容の公表・ワークショップなどの関係者見学・運営方法への助言など運営面での協力をお願いします。

人口規模（400人までを想定）

今回は実証事業として今後の取り組みのモデルとして計画を策定しますので、字の人口を400人(単独申請、もしくは隣接する字と共同申請で)までの字を対象とします。

成果報告会の協力

取りまとめた計画を、成果報告会など（字内の会合や区長会、その他の再生可能エネルギーに関する会合）にて発表することをご承諾ください。

モデル字の選定方法

- ・ 応募頂いた字は以下の観点から役場企画振興課と事業者との協議の上で選定します。

字の課題に取り組み、意欲があること

申請書に明らかにしたい地域課題について記載してください。選考の参考とします。

選定する字は最大2カ所、東西エリア各1カ所とします

東：屋子母・大津勘・徳時・住吉・正名・下城・上城・新城

西：小米・黒貫・芦清良・屋者・下平川・上平川・余多・竿津・久志検・赤嶺

対象の字の人口は400人を上限とします

対象となる字は人口400人を上限とし、それ以内であれば複数の字による応募も可能です。また400人以上の字は本年度は試行事業であること、スタッフの確保・コロナ禍における3密の回避を検討し、次年度以降に改めてご案内させていただきます。

(対象：知名・田皆・瀬利覚) *参考のため資料配布をいたします。

申請書について

提出先 知名町役場企画振興課（提出日9月20日まで）

字循環共生圏策定に関するモデル字参加申請書

令和 年 月 日

申請代表者

字名

氏名

印

知名町字版循環共生圏策定に向けたモデル字選定について「募集条件」に承諾し、下記のとおり、字循環共生圏事業のモデル字として参加を申請します。

記

1. 共同申請字名（隣接する字を含め共同で申請する場合のみ記入）

共同申請字名

区長氏名

印

2. 字運営委員候補（区長を除く4名）*必須

氏名

（字役職名）

氏名

（字役職名）

氏名

（字役職名）

氏名

（字役職名）

3. ワークショップにて使用する会場が字公民館以外の場合記入してください。

名称

4. 計画策定を通じて明らかにしたい地域課題があればお書きください（自由記述、もしくは任意様式で提出してください。）

以上

**参加を希望される字は、モデル字参加申請書を
9月20日までに役場企画振興課に提出してください。**

お問い合わせ先

- **事業発注元（字選定/本事業全般について）**
知名町役場企画振興課 永野
電話 0997-84-3162

- **事業受託元（計画策定について）**
一般社団法人サステナブル経営推進機構
コンサルティング事業部 乾（いぬい）
電話 050-5364-2001